

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 Takarazuka Exchanger

1 事業名	お洋服の交換会 in Takarazuka
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	実施日：第1回 令和6年 5月11日（土）@文化芸術センター 第3回 令和6年 6月 8日（土）@文化芸術センター 第4回 令和6年 7月 6日（土）@シングルマザーハウス With 第5回 令和6年 7月20、21日（土日）@アピア3 第6回 令和6年 8月17日（土）@シングルマザーハウス With 第7回 令和6年 9月14日（土）@文化芸術センター 第8回 令和6年 10月12日（土）@文化芸術センター 第9回 令和6年 11月9日（土）@武庫川河川敷 第10回 令和6年 12月22日（日）@シングルマザーハウス With 参加人数：約50人/回 年間 持ち込まれた服：712着 持ち帰られた服：573着 （持ち帰られた服 TOTAL 換算で CO2 14,611Kg 相当を Save !） 内容： 第1回 事前の情報展開がメイン。インスタを見てくださった方も一部。 通りがかりで交換できるものをお持ちでない方も参加いただき、 捨てられるお洋服を救い、別の方へつなぐことができた。 持ち込まれた服：75着、 持ち帰られた服：66着 ナビック祭りにて翌週実施（第2回）。70周年事業の一環にできなかったが先週 来た人がリピートしていただけたら、ナビックのイベントのおかげで子供服が とても多く循環できた。 第3回 リピータになってくださった方、インスタを見てお話にきてくださった方も いらっしゃいました（SDGs に関心他） 持ち込まれた服：54着、 持ち帰られた服：48着 第4回 都市計画課の方から紹介いただいた NPO センターの方所有のシングル マザーハウス With にて開催。10時スタートの時に5組ほどが集中して いらっしゃった後、少し波があり、合計では20組ほどの訪問と他での開催 より少な目でした。NPO センターのご紹介で NPO 法人 RETEX の会長へ汚れて 交換できそうにないお洋服や増えてきた子供服など段ボール1箱分お譲り。 繊維にして別の形で使われる、あるいは 海外へ送られるということで循環をより深められる連携ができそうです。 持ち込まれた服：65着、 持ち帰られた服：36着 RETEX へ循環された服：約40着 第5回 アピア3の方のご厚意でショッピングエリアで土日二日連続、初開催。



非営利ということで出店料も無料にいただきました。
リピートの方で毎回きてくださる方が数名できて、心強い。
通りがかりの方もいらっしゃり、新しい方もいらっしゃいました。
日曜はかなり人数が少なく、開催日・タイミングが重要と実感。
持ち込まれた服：107 着、 持ち帰られた服：93 着

第6回 シングルマザーハウス With 2 回目の開催。どう周知するかが課題。
とても暑い日で来てくださる方は前回より少な目。
持ち込まれた服：44 着、 持ち帰られた服：29 着

第7回 リピートの方や通りがかりの方でたくさんのお洋服をお持ち帰り
いただきました。まずは存在を知っていただければと思います。
妊婦さんやお子さんづれへのお洋服提供が多い一日でした。
持ち込まれた服：39 着、 持ち帰られた服：51 着

第8回 市の掲示板をみてやって来てくださった方がいらっしゃいました。
どう広めていくか、わかりやすい場所でやるかが重要だと思いました。
衣替えの時期で多くのお子様のお洋服がやってきました。
宝塚市のイベントでの開催が効果的です。
持ち込まれた服：89 着、 持ち帰られた服：69 着

第9回 武庫川河川敷での初開催。集客および散歩の方への認知アップに
つながりました。前回開催時に「次回の日程」を告知できたため
リピートの方が多く、心強かったです。
持ち込まれた服：187 着、 持ち帰られた服：141 着

第10回 シングルマザーハウス With で今年最後の開催。今後の活動の資金確保課題。
持ち込まれた服：127 着、 持ち帰られた服：124 着

3 市制 70 周年をお祝いした内容

70 周年のお祝いとして毎回「特別服」を表に出した。70 周年の宝塚市のロゴを
飾り、アピールできました。
世代を超えたたくさんの市民の方が、お洋服でつながれる！きっかけになれた。
更に未来につないでいけるよう、宝塚市の歴史のように、「ものを長く大切に育み」
みんなでシェアして楽しめる場を広げたい。

4 事業の効果・成果

- ・お洋服をきっかけに日常のものを大切にする機会の提供
- ・捨てるのではなく、シェアして楽しめる機会づくり
- ・世代を超えて楽しめる場の提供
- ・捨てるお洋服からお人形のお洋服を作るなどリメイクされる方のお話を
シェアし、みんなで考えるきっかけとした
(SDGs は誰にでも、日常からできるものがあることを伝えていった)
- ・場に来る人達の分け合う気持ちを養う
- ・宝塚市で活動される多くの方を紹介いただき、地元の活動の可能性を広げられた

5 実施した安全対策
・ 転倒防止対策 ・ 必要に応じた動線確保